

安心して暮らせる福祉のまちづくり

生活の安定は健康づくりという視点から、疾病の早期発見、早期治療を促進し、町民の皆さまの健康増進と医療費の抑制を図るため、保健予防、健診事業をさらに強化推進することとし、保健師を本年度も1人増員し、6人体制で対応してまいります。



▲特定健診の受診率向上へ

40歳・50歳・60歳を対象とした人間ドック受診費用、40歳から60歳の5歳刻みの方を対象に、乳がん検診および大腸がん検診と20歳から40歳の5歳刻みの女性を対象とした子宮頸がん検診の無料化を実施いたします。

特定健診事業については、過去5年間の未受診者へ無料クーポン券を配布し、受診率の向上と健康管理の自己啓発を図ります。

少子化および定住促進対策として、中学3年生までを対象とした医療費の無料化を継続し、子育て世代の支援を図ります。

次代を担う子どもの誕生を祝福し、健やかな成長を願うとともに、少子化対策として「すこやか赤ちゃん出産祝金支給事業」を新たに創設します。

インフルエンザ予防接種についても65歳以上および1歳から15歳を対象に助成を継続して実施します。

また、子育て世代の母親の精神的・身体的負担を軽減するため、産前産後ホームヘルプ事業を継続して実施してまいります。

高齢者および障害者福祉対策といたしましては、いきいきサロン事業、食の自立支援事業、高齢者及び障がい者住宅改造成成事業の継続事業をはじめ、障害者自動車運転免許取得・車輛改造助成事業および難聴

互に連携を図りながら、社会体育と文化の振興に向けた支援を行ってまいります。

を合わせて進めてまいりたいと考えております。

防災・防犯対策といたしましては、氷川町地域防災計画の全面改訂を行うとともに、新たに整備した防災備蓄倉庫における災害対応資機材および食糧などの備蓄を計画的に進めてまいります。

八代広域行政事務組合消防分署建設基本計画に基づく、鏡消防署氷川分署の建設に向け、用地取得と造成工事を実施します。

消防団および自主防災組織を核とした地域防災体制の充実と地域ぐるみで見守る防犯体制の確立を図ります。特に、消防団につきましては、団員の確保に努めるとともに、消防活動資機材および施設整備を行い、活動環境の充実と改善を図ります。

下水道事業も計画に沿って促進し、宮原処理区の八代北部流域下水道への編入についても本格的な協議を進めてまい

児補聴器購入費助成事業に取り組むこととしています。

特に、いきいきサロン事業につきましては、町内全地区での実施を目標として積極的に推進してまいります。



▲全地区実施を目指すいきいきサロン

本年度見直した氷川町国民健康保険財政健全化計画に基づき、国民健康保険事業の円滑な運営に努めてまいります。

町社会福祉協議会の地域福祉計画および組織改革計画が策定されましたので、その計画を踏まえ町社会福祉協議会の改革と行政、民間施設、医療機関と連携を図り、地域で支える医療介護福祉の環境づくりを進めてまいります。

さらに、医療費の抑制と疾病予防のために、住民健診の検診率の向上と管理栄養士を活用し、保健予防活動を充実強化してまいります。

ります。

集落内の道路・河川および排水路につきましては、氷川町道路整備基本計画と地区からの要望との整合性を図りながら、社会資本整備総合交付金などの国・県の事業を積極的に活用しつつ、優先順位を付けて整備を行うこととしています。

町が管理する既設の橋梁については、橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、優先順位をつけて改良工事を行います。

町内の住宅建築物の安全性の確保と耐震性の向上を図るための住宅・建築物耐震改修促進計画に基づき、戸別住宅耐震診断事業およびアスベスト調査分析事業を継続して取り組みます。

また、公営住宅等長寿命化計画に基づき、老朽化した町営住宅の整備を行います。

定住促進施策の一環として、空き家、空き店舗および遊休農地などの情報発信を行い、町外はもとより県外からの移住者の受け入れを行う移住定住促進事業の充実を図ります。

宇城・氷川スマートインターチェンジ事業につきましては、全面供用開始に向け、氷川町アクセス道路の早期完成を目指し、全力を傾注して取り組んでまいります。

人を育む教育の振興

児童生徒の安全な教育施設整備のための改修工事を計画的に実施しておりますが、本年度は、氷川中学校の体育館と武道場の天井改修、竜北中学校武道場と集会所天井改修工事ならびに氷川中学校プール改築工事を施工いたします。

新規事業として、町内小中学校にICT機器(電子黒板、タブレットなど)およびICT支援員を配備し、学習支援を行うことで教育環境を充実し、魅力ある学校づくりと学力向上を図ります。

新規事業として、県費教職員を指導主事として本町に配置し、教職員の授業力向上および学級経営、生徒指導などへの指導助言とともに、本町教育の特色であるコミュニティスクールの取り組みを推進してまいります。

全小中学校における要支援児童生徒への教育支援を行う、要支援児童生徒教育支援事業および地域ぐるみで学校運営を支援する、学校支援地域本部事業も継続して取り組んでまいります。特に、要支援児童生徒支援員につきましては、10

人体制で支援してまいります。

学校給食における地元食材の活用を図るための助成ならびに各学校の図書購入費は継続して上乗せ補助を行い、学校施設補修と教材備品の購入については、学校現場の要望を尊重して進めてまいります。

幼児期における質の高い保育・教育を支援するための子ども・子育て支援事業計画および新次世代育成支援対策行動計画を策定しましたので、その計画に基づく事業を実行し、すべての子どもと子育て家庭が安心・安全・健康に暮らせる町を目指してまいります。

八火図書館が新築されましたので、本施設を中核として学校図書館との連携を図りながら積極的に図書活動を実施するとともに、光永八火先生を顕彰してまいります。

なお、現在の八火図書館につきましては、解体し、駐車場として整備します。

国指定史跡である野津古墳群ならびに大野窟古墳の保存管理と活用について、研究協議を行い、保存管理計画を策定します。

住民自治を支える行政運営の推進

行政運営には、必要性、計画性、実行性、継続性、創造性が重要と考えます。

第1次氷川町総合振興計画の後期5年の計画と地区別計画のそれぞれの計画を基本に行政運営を進めてまいります。

町行政のすべての事務事業の評価を行っておりますが、本年度で取りまとめを行い、効率的な行政運営と適正な人事管理の構築に活用します。

住民主役のまちづくりを進めていく上では、町民の皆さまとの対話と協調が重要であり、ますので、本年度も町政懇談会を実施するとともに、情報を共有する必要があるため、できうる限りの情報提供に努めてまいります。

堅実な行財政運営を行うためにも、行財政改革に努めてまいります。

行政改革プランの進捗状況を確認し、漸次必要な見直しを図りつつ、その計画に基づいた改革を確実に実践してまいります。

さらに効率のよい機能的な行政組織とするため、今後の公

安全で快適な生活環境のまちづくり

地球環境への負荷軽減による自然と共生するまちづくりを目指して、太陽光発電施設などの費用助成を行う住宅用新エネルギー等導入促進事業を継続して取り組みます。

生ごみ減量化を目指した電気式生ごみ処理機購入助成は、継続して実施することとし、ごみ減量化に向けた町民の皆さまへの意識醸成と具体的な啓発活動を積極的に推進してまいります。

海洋環境保全に資するとともに、河川環境保全への波及効果をめざして、海岸漂着物および漂流・海底ごみの回収処理事業を新たに実施します。

八代市が建設予定の新たな環境センターでの広域処理につきましては、現在、氷川町、八代市、八代生活環境事務組合の3者による協議を実施しておりますが、さらに踏み込んだ協議を重ねてまいりますので、議員各位におかれましても一緒にご議論頂き、歩調